

神奈川大学

産学連携事業本の架け橋プロジェクト 御中

日本は、桜はもう咲きましたでしょうか？これから最も美しい季節、春ですね。ここボツワナは日本と正反対で、これから冬になります。気温もだんだん寒くなってきて、上着が必要になってきました。

すばらしい本を寄付くださり、ありがとうございます。写真については、現地の人より、私達日本人の方が、あまりに美しい京都の様子に、うっとりで見入ってしまいました。京都、いいですね。

送っていただいた本は、セロウェ図書館に、「Japan Section」を設置し、そこに展示しています。その設置初日の3月28日には、「Japan Event」を行い、寄付いただいた本等を使って日本、日本語の紹介をしました。生の魚を食べる（刺身）話をしたら、本当にびっくりされてしまいました。

この国では、日本、日本人はほとんど知られていません（TOYOTA、NISSAN等、日本車がたくさん走っているのに、です）。私は街を歩けばいつも中国人に間違われ、「ニイハオ」と声をかけられます。日本は中国の一部のように考えている人もいます。

これからも、日本についてできるだけたくさんの人に知ってもらえるように、活動していきたいと思っています。

私のしていることと、住んでいる町セロウェとについて、少し説明します。

私は、セロウェにあるセントラル県県庁で、公務員に行政サービスの指導をしています。具体的には、5S（整理・整頓、清掃、清潔、緘）、リサイクルペーパーの使用、誰もいない部屋の消灯、等です。日本では当たり前のようにしている事が、ここではできていません。日本人なら誰もがわかる「もったいない」という意識もないようです。

住んでいるセロウェは、ボツワナの首都ハボロネからバスで約3時間半のところにあります。1966年の独立以来、4人の大統領が誕生しましたが、そのうちの3人までもがここセロウェ出身という、歴史ある町です。（現在のカーマ大統領もセロウェ出身です。）

私はここで、今年の9月までボランティア活動をし、10月初旬に日本に帰る予定になっています。後半年ですが、自分ができることを一所懸命したいと思っています。

季節の変わり目ですのでくれぐれも健康にご留意ください。

平成24年4月3日

平成22年度2次隊 行政サービス









ボツワナの国章



日本語表記:ボツワナ共和国

英語表記:Republic of Botswana  
(リパブリック・オブ・ボツワナ)。

1.面積	2.人口	3.首都	4.人種	5.言語	6.宗教	7.時差
58.2万平方キロメートル (日本の約1.5倍)	195万人(2009年:世銀)	ハボローネ	ツワナ族(79%)、カラング族(11%)、バサルク族(3%)等	英語 ツワナ語(国語)	キリスト教 伝統宗教	- 7時間 (日本が1月1日正午の時、 現地時間は1月1日午前5時)



☆国旗☆

上下の青は、水と空を表している。また、水資源が乏しいボツワナで貴重な、恵みの雨をも象徴している。中央の黒い帯と白い細いラインは、国民の大多数を占める黒人と少数派の白人が、協力して平和な社会を建設していこうという、建国の精神を表している。

☆気候☆

国土の3分の2が南回帰線付近の熱帯に属するが、全体的に平均標高1000mの高原地帯のため、気温は比較的穏やかだ。雨季(11~3月)と乾季(4~10月)に分かれており、年間降水量は250~700mm。北部は気温が高く雨も多いが、南西部・中央部は乾燥しており、冬(乾季)には5度を下回ることもある。

ボツワナは南部アフリカの内陸に位置する内陸国で、国土面積は世界44位。なお、国土の約17%が政府により指定保護区とされ、開発から手付かずで残されており、世界各国から観光客や研究者が訪れる。首都のハボローネをはじめとする都市部はオフィスビルも多く、各種交通やITなどのインフラストラクチャーが整っているものの、政府の自然保護政策を受けて多くの緑が残されている。ダイヤモンドの生産地として経済力をたくわえ、南部アフリカの中で最も豊かな国といわれている。南西部には乾いたカラハリの地が広がるが、北部は動植物の楽園といわれるオカバンゴ・デルタやチョベ国立公園など、自然の恵みも豊かである。